

講師紹介

長岡慎介先生

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授。専門はイスラーム経済論、ポスト資本主義論。主要業績に『資本主義の未来と現代イスラーム経済（上）（下）』（詩想舎、2020年）、『お金ってなんだろう？あなたと考えたいこれからの経済』（平凡社、2017）、『現代イスラーム金融論』（名古屋大学出版会、2011年）、『イスラーム銀行』（共著、山川出版社、2010年）など。

安田慎先生

高崎経済大学地域政策学部准教授。専門は中東地域研究、宗教と観光をめぐる研究。主要業績に『現代中東における宗教・メディア・ネットワーク』（共編、春風社、2021年）、Religious Tourism in Asia（共編、CAB International、2018年）、『イスラーム・ツーリズムの勃興』（ナカニシヤ出版、2016年）など。

錦田愛子先生

慶應義塾大学法学部准教授。専門は中東地域研究、移民／難民研究。主要業績に『政治主体としての移民／難民』（編著、明石書店、2020年）、『移民／難民のシティズンシップ』（編著、有信堂高文社、2016年）、『ディアスポラのパレスチナ人』（有信堂高文社、2010年）など。

堀抜功二先生

日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員。専門は湾岸地域研究。主要業績に「なぜ男性移民は社会から排除されるのか？UAEとカタールにおける人口男女比の不均衡がもたらす政治社会問題」（錦田愛子編『政治主体としての移民／難民』明石書店、2020年）、Asian Migrant Workers in the Arab Gulf States（共編、Brill、2019年）など。

今井宏平先生

日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター中東研究グループ研究員。専門は現代トルコ研究、国際関係論。主要業績に『同盟の起源』（共訳、ミネルヴァ書房、2021年）、The Possibility and Limit of Liberal Middle Power Policies（Lexington Books、2017年）、『トルコ現代史』（中央公論新社、2017年）、『国際政治理論の射程と限界』（中央大学出版部、2017年）、『中東秩序をめぐる現代トルコ外交』（ミネルヴァ書房、2015年）など。

溝渕正季先生

広島大学大学院人間社会科学研究科准教授。専門は中東地域研究、国際関係論。主要業績に『同盟の起源』（共訳、ミネルヴァ書房、2021年）、『「アラブの春」後のイスラーム主義運動』（共編、ミネルヴァ書房、2019年）、『中東・イスラーム世界の歴史・宗教・政治』（共編、明石書店、2018年）、『現代中東の国家・権力・政治』（共訳、明石書店、2015年）、『ヒズブッラー』（共訳・解題、現代思潮新社、2015年）など。